

東京都西多摩郡奥多摩町「金平岩の穴」測量報告

Survey Report of the Wild Cave “Konpiraiwa no Ana Cave” in Okutama-machi, Tokyo

村野哲雄 (Tetsuo MURANO) 地底旅団 ROVER 元老院所属 東京都在住

1. はじめに

東京都西多摩郡奥多摩町東部を流れる入川 (国土地理院の地形図では峰入川谷と記載) に、こんびらいわ金平岩と呼ばれる小さな石灰岩の露岩がある。1944 (昭和 19) 年発行の宮内敏雄著「奥多摩」に、この金平岩に関する記載があり「左岸のブツシユの裡に傍に二本の大杉を侍らした四米四方位の金平岩を見る。この巔に金平様の小祠が祀つてあり、詣でるには岩塊の基部の直径二尺程の孔に這入ると施回 (原文ママ) して抜けられるのである。一種の鍾乳洞なのであるが面白いものである。」(P.321) とある。この記述から、金平岩には洞窟が存在していることが窺われるが、本洞窟 (以下、金平岩の穴という) に関する詳細な調査報告は現在まで行われていない。そこで今回、金平岩の穴の測量調査を行ったので報告する。

2. 金平岩の概要

金平岩は、奥多摩町棚澤地区内を流れる入川の左岸、標高 516m 付近に存在する石灰岩の露岩である。入川流域には、いくつかの小規模なレンズ状の石灰岩層が点在しているが、金平岩の東方、金平岩から斜距離にして約 45 m、比高 + 約 25m 付近にも石灰岩の露頭が見られ、金平岩はこの露頭からの転石と推察される。金平岩の大きさは、4.9m × 9.4m、地表から頂部までの比高は 6.4m である。入川の河床から斜距離約 25m、比高 + 約 8m の場所に位置している。

岩の南面には、2 本の杉の大木が聳えている。これらの杉は、金平岩の穴の第 1 洞口を挟むように配置されており、幹周囲長は、洞口に向かって右の木は 4.0m、左の木は 2.8m である。

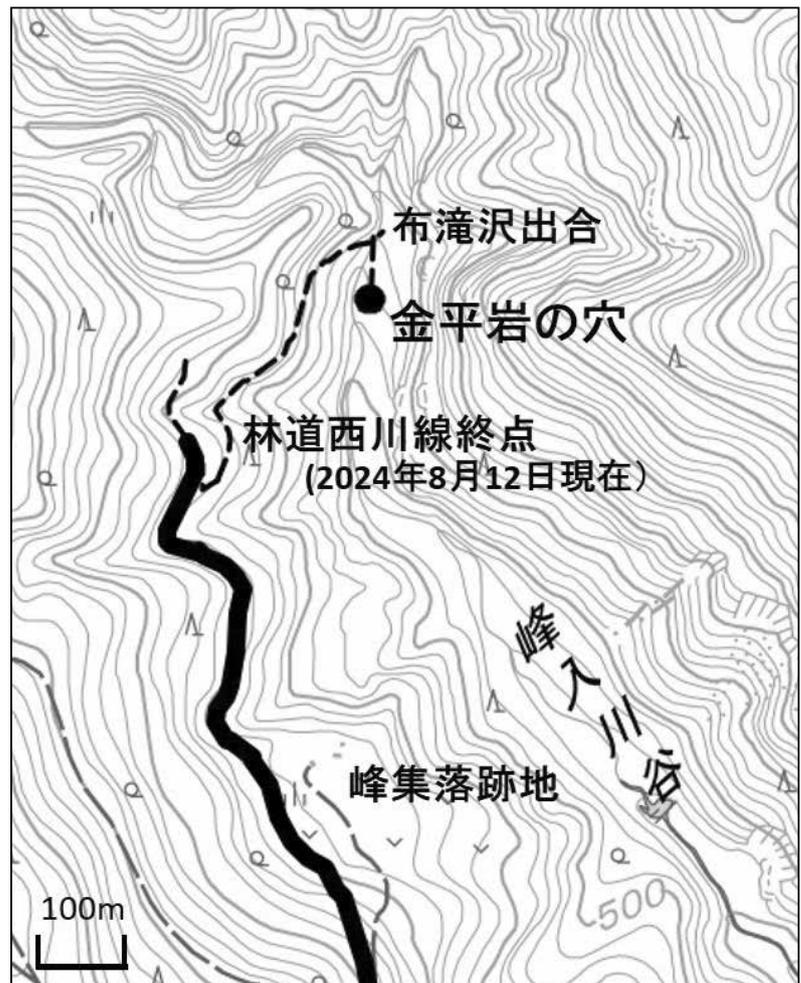
岩の頂部には鉄製の鳥居が設置されており、幅は 42cm、高さは 47cm である。額東には文字が刻まれており、錆のため不明瞭ながら「天保三 辰六月吉日」と判読できる。鳥居の奥には、木製の祠があったと推察されるが、現在は崩壊して棟と思われる部材の残骸のみが確認できる。祭神は“金平岩”という名称および宮内氏の記載から金毘羅権現と考えられる。

3. 洞窟データ

洞窟名	金平岩の穴 (Konpiraiwa no Ana)
所在地	東京都西多摩郡奥多摩町棚澤 入川左岸 <small>こんびらいわ</small> 金平岩
	北緯 35 度 50 分 04.01 秒
	東経 139 度 07 分 18.95 秒
洞口標高	516m
洞口数	2
測線延長	3.7m
高低差	2.8m
水流	なし

4. 洞窟名称由来

金平岩内部に発達した洞窟であることから、2022 (令和 4) 年、地底旅団 ROVER 元老院によって命名された。



金平岩の穴周辺地形図 (地理院タイル標準地図を加工して使用)